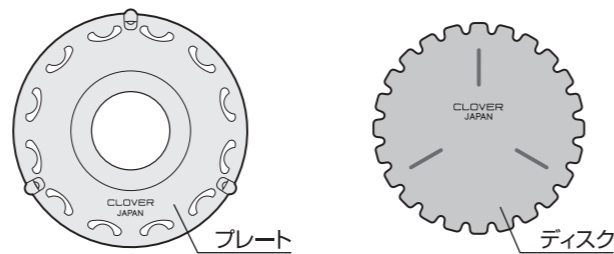


はじめに

※この説明書は<SS><S><L><LL>共通です。
イラストは<S>で説明しています。

<規格>	できあがりサイズ	布の用尺	糸の長さ
<SS>	直径約20mm	約6cm角	約30cm
<S>	直径約30mm	約8cm角	約40cm
<L>	直径約45mm	約11cm角	約50cm
<LL>	直径約60mm	約14cm角	約60cm



←<表> ディスクは凸面側
(CLOVERの文字が見える側)が表です



おすすめの布

薄地～普通地のやわらかい布

例. シーチング、ブロード、キャンブリック、
薄地サテン、オーガンジー、レース(目の細かいもの)、
薄地ウール、フランネル、ちりめんなど

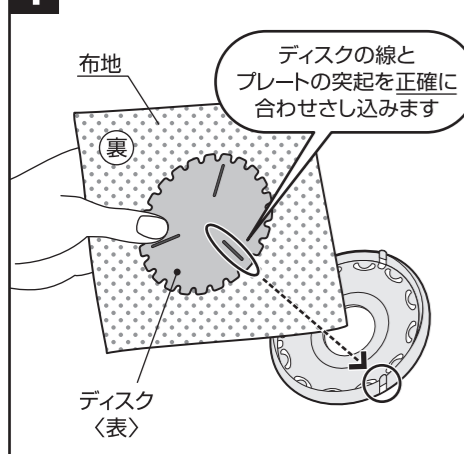


適さない布

中厚～厚地、硬い布、目の粗い布

例. デニム、キャンバス、フェルト、厚地ウール、コーデュロイ、
パイル、ニット地、皮革及び合成皮革、コーティング加工布、
レース(チュールなど目の粗いもの)など

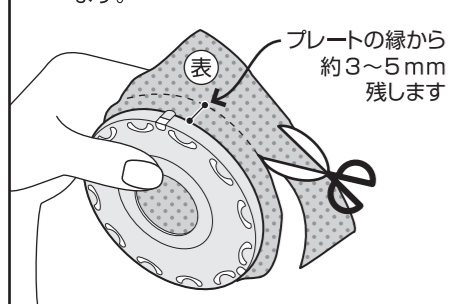
1 プレートの上に布とディスクを重ねます。



2 外周にそって順に、ディスクをプレートにしっかりとはめこみます。



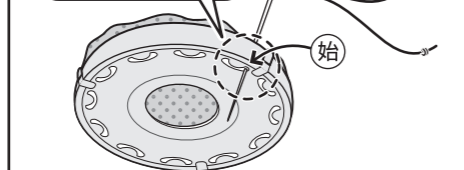
3 縫いしろを約3～5mm残して切り抜きます。



4 縫いしろを折り返して指で押さえ、最初はディスク側から、図の始の位置に針を入れます。

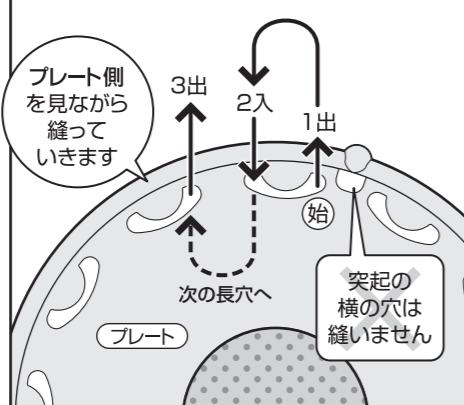


縫いしろに隠れて見えませんが、ディスクの凹んだ部分に針を入れます

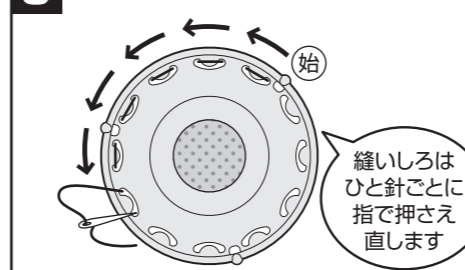


※布地が薄い場合はディスクとプレートがはずれやすいので、しっかり挟んで持ちましょう

5 プレート側へ針を引き出します(1出)。次に、同じ長穴の左端に針を入れてディスク側へ引き抜きます(2入)。

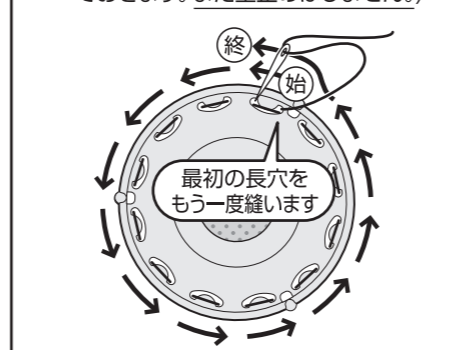


6 4 5 をくり返し、周りを縫い進みます。

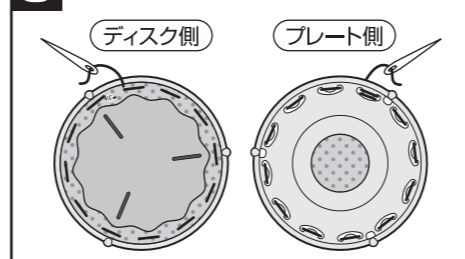


間違いやすいポイントです! 長穴の外側を縫わないように注意してください ※プレートがはずせなくなります

7 最後は重ね縫いをします。最初の長穴の右端に針を出します(玉結びに針が刺さらないよう注意してください)。同じ穴の左端からディスク側へ針を出して縫い終わりです。(針と糸はそのままつけておきます。まだ玉止めはしません。)



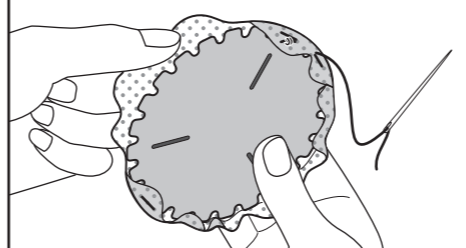
8 縫い終わったところです。



9 プレートからディスクをはずします。



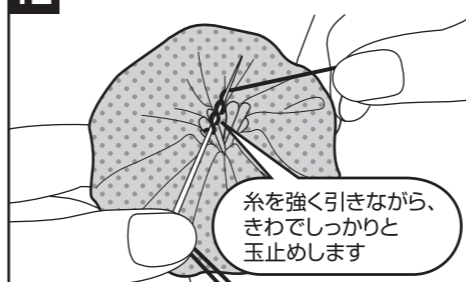
10 縫いしろを持ち上げるようにして広げ、ディスクからはずします。



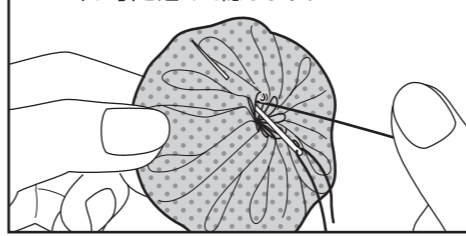
11 糸端を引いて、縫い目を縮めます。



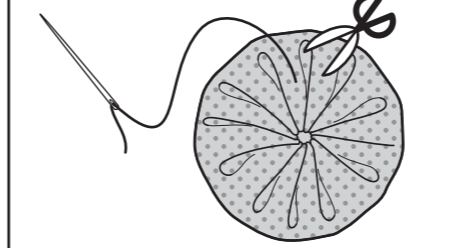
12 しっかり縮めたら、玉止めをします。



13 玉止めをしたひだの中に針をくぐらせて少し離れた所から出し、玉止めをひだの中に引き込んで隠します。



14 糸端をきわで切り、丸く形を整えてできあがりです。



うまくできないときは…

- * 針がうまく入りません。
→ ディスクの線とプレートの突起がずれていませんか? (使いかた 1 をご覧ください)
→ ディスクはしっかりプレートにはめこまれていますか? (使いかた 2 をご覧ください)
- * 縫い終わって、プレートをはずそうしたら、はずれません。
→ 長穴の外側を縫っていませんか? (使いかた 3 をご覧ください)
- * (縫い始めのとき) 縫えずに糸が通り抜けてしまいます。
→ 玉結びが小さすぎるか、布目が粗すぎる可能性があります。
- * (縫い終わって) 糸を引きしめようとしたら、縫い目が縮まりません。
→ 途中で返し縫いしていませんか?
→ 途中で糸が絡んでいませんか?
→ 最初の玉結びを縫ってしまっていませんか? (使いかた 7 をご覧ください)
- * 糸が切れてしまいました。
→ キルト糸などの丈夫な手縫い糸をご使用ください。
→ 続けて作ると糸が傷むので、2～3個作るごとに糸は新しく替えてください。
- * きちんとぐし縫いになっていない所があります。(ひだの形が不規則になってしまいます)
→ 縫いしろはきちんと折り返していますか? (使いかた 4 6 をご覧ください)
→ 長穴の端ギリギリに針を入れると、針先がすべて布を縫えていないことがあります。
※(右図) → 途中で返し縫いしていませんか? ※この部分
- * できあがりのヨーヨーの中心の穴が大きくなってしまいます。
→ 厚い布を使うとひだに厚みがあるので、縫い縮めても中心の穴は小さくなりません。
- * 縫っている途中で、ディスクがプレートからはずれそうです。
→ ディスクはプレートよりやや小さめに設計されています。薄い布地をご使用の場合ははずれやすいので、しっかり指で挟んで持ってください。

* アイデアいろいろ *

並べてつないでも!

アツリケにも!

ブランケットステッチやフェザーステッチなどで取りつけます。

巻きかがり

中表に合わせて、端を巻きかがりにつなぎます。糸端は目立たないように中へ引き込むか、裏で始末するときれいです。

模様で遊んでみよう!

布の模様をどう配置するかで、同じ布を使ってもできあがりのイメージが変わってきます。

刺しゅうで取りつけても!

できあがりにビーズやボタンなどを縫いつけます。

この線ができあがりのめやすになります。(線より外側がヨーヨーの表)

使用上の注意

- ・過度の力が本体に加わると破損・変形の原因となりますので、厚地や硬い布地のご使用はお避けください。
- ・本品は柔軟な樹脂でできていますので、爪など硬いものによって傷つくことがあります。
- ・高温により変形しますので、アイロンなどのご使用はお避けください。
- ・長期間使用しない場合は、布地をセットしない状態で保管してください。

② 使用説明書を無断で複製し配布することを禁じます。

クローバー株式会社
〒537-0025 大阪市東成区中道3-15-5
「お客様係」TEL. (06) 6978-2277